

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

大分市地域まちづくりビジョン

鶴崎地域ビジョン会議 通信

第2号

発行：鶴崎地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営等々諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第2回鶴崎地域ビジョン会議



■平成29年7月21日（金） 14:00～16:30

■鶴崎市民行政センター 2F 大会議室

開会

一、議事

1. 第1回ビジョン会議の補足説明

- ・前回会議の質問事項の回答
- ・「鶴崎地域ビジョン会議通信」の発行について

2. これからのまちづくりについて

- ・「大分市都市計画マスタープラン」について
- ・「大分市立地適正化計画」について

3. グループワーク

- ・まちづくりビジョンのコンセプト（テーマ）を見出す

二、その他

閉会

これからのまちづくりについて

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

1. 鶴崎地区における都市計画について（都市計画マスタープランの概要）

本地区は、中心市街地に次ぐ中枢的な商業・業務地区を形成しており、JR鶴崎駅周辺を中心とする既成市街地は、古くからの風格を有しています。

また、大野川、乙津川を利用した水運の歴史や、河川とともに生活する知恵の中で形づくられた輪中の伝統など、歴史を活かした市街地の形成と土地利用計画が必要な地区でもあります。

このようなことから本地区は、「歴史と伝統の息づく居住型拠点の形成」をまちづくりの目標とします。

2. 大分市立地適正化計画について

大分市では、昭和39年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少及び人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

こうしたことから、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第81条に基づく「立地適正化計画」について、平成30年度末の公表を目指して作成を進めています。



グループワークの流れ



まちづくりのコンセプト (理念) 成果発表



【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

委員の皆様、3班に分かれていただき、大分市総合計画の6つの「基本的な政策」に対し、ふだん気になることや問題に思っている項目を選び、一人5枚のシールを貼っていきました。

《A班:みうら組》 班長:三浦委員より発表

地域のコミュニティの活性化について非常に皆さま考えられているところがございます。それからスポーツの振興としてトリニータやラグビーなどのスポーツを盛んにしていければと思います。安全・安心など7月6日の九州北部豪雨災害に脅威を感じ、防災安全の確保にポイントが入っています。

にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり「産業の振興」では、商業・サービス業の振興に2ポイント入っています。将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり「都市基盤の形成」では、安全で快適な住宅の整備、公園・緑地の保全と活用等が目立っています。

【ポイントが多く入った項目】

- 地域コミュニティの活性化・・・(4)
- スポーツの振興・・・(4)
- 安全で快適な住宅の整備、公園・緑地の保全と活用・・・(3)
- 商業・サービス業の振興・・・(3)

《B班:住んでみたい鶴崎のまち》 班長:安部副会長より発表

子育てについて、「いま問題になっている子どもたちを地域でどう育てていくのか」といったことで入れました。子どもたちを支援できる充実した環境だと思える福祉のまちにしたい、「健康づくり」「鶴崎は、みんなお年寄りも健康だ」と言われるようなまちにしたい、ということを入れました。

次に、子どもたちの学びを支える教育環境の充実に入れました。やはり教育のレベルをもっと上げたいということです。「鶴崎に行けば子育て・教育に良い所」と言われるような環境にしていきたい。最後に都市基盤の形成では、計画的な市街地の形成・交通体系の確立に入れました。

【ポイントが多く入った項目】

- 子ども・子育て支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者(児)福祉の充実・・・(4)
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実・・・(3)
- 農業の振興・林業の振興・水産業の振興・・・(3)
- 計画的な市街地の形成・交通体系の確立・・・(3)

《C班:つくろうつるさき!》 班長:山村委員より発表

子育ての充実という所が一番多くあがっています。それに繋がっていると思いますが、子どもたちの学びを支える教育環境の充実・学校教育の充実に入れています。大事な所で、街の安全・安心を身近に実感できるまちづくりといった問題にも話し合っていかなければならないと思っています。

産業の振興では、商工会の関係で多く出なければならないと思うんですがあまり出ていません。都市基盤の形成の「計画的な市街地の形成・交通体系の確立」に関しては、街の中を人が巡回する交通体系がないのが現状ですので多くなっています。「環境の保全」に広くポイントが上がっています。

【ポイントが多く入った項目】

- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実・・・(5)
- 子ども・子育て支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者(児)福祉の充実・・・(4)
- スポーツの振興・・・(4)
- 安全で快適な住宅の整備、公園・緑地の保全と活用・・・(3)

【ステップ2】ブレインストーミング(思いついた地域の魅力や課題を書き込む)

【ステップ3】親和図作成(問題点と課題点の整理)

各班で、思いついた地域の魅力や課題をポストイット(付箋紙)に書き込み、親和図に共通点を施策単位でまとめ、コンセプトを考えました。

《A班:みうら組》施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「少子高齢化を支えるまちづくり」・・・(7)
 - ・高齢化が進むので福祉の充実・子どもが少ない。高齢者が多い・子どもの見守り活動
 - ・通学路の安全確保(大東中学校)他
- 教育・文化・・・(13)
 - ・大分県で全国に通用するオリンピックに出場出来る選手の育成・学力向上、大分県のレベルアップを図る・海舟、龍馬の銅像を有名に・スポーツの盛んな街作り 他
- 防災・・・(6)
 - ・犯罪のない街づくり・自然災害発生時に避難できる所がない。冷暖房が完備された設備がない・交通事故の少ない地域作り 他
- 産業・・・(2)
 - ・教育を受けた子どもたちを受け入れる企業誘致・企業のCSR活動の活性化
- 都市・・・(11)
 - ・隣近所のつながりが薄い・金の手から松岡に続くバイパスを準商業地区に変更して、通りを活性化していただきたい 他
- 環境・・・(9)
 - ・乙津川水辺の楽校の公園化整備・自然が沢山ある地域作り(自然を大事にする) 他



《B班:住んでみたい鶴崎のまち》施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「子どもと高齢者にやさしい健康づくりのまちづくり」・・・(8)
 - ・高齢化が進むので福祉の充実・子どもの見守り活動・交通弱者への交通コミュニティ整備・鶴崎地域をあげて、ラジオ体操の輪を広げたい 他
- 教育・文化 「自然を活かした学校づくり」・・・(5)
 - ・通学路の整備、見直し・乙津川水辺の楽校周辺の整備・地域に安心出来る遊び場
 - ・生きる力を育む学校教育の充実、子どもたちの学びを支える教育環境の充実
- 防災・・・(1)
 - ・鶴崎地区7校区は海、川(大野川、乙津川)、山(九六位山)に面した地域であり、防災対策に力を入れて欲しい
- 産業 「遊覧船を生かしたまちづくり」・・・(6)
 - ・(農業)10年先荒廃農地が増加、心配・(農業)高齢化、担い手不足・大野川に遊覧船を!!・耕作放棄された農地の有効活用 他
- 都市 「鶴崎駅のにぎわいと魅力あるまちづくり」・・・(12)
 - ・バス通行道に出るまでの巡回ミニバスの運行・鶴崎校区内公共交通を増便・計画的な市街化の形成・高齢者が集まる場所があれば・空き家対策 他
- 環境 「緑あふれる鶴崎」・・・(1)
 - ・緑地が多い地区



《C班:つくろうつるさき》施策毎のポストイットの内容

- 福祉・・・(1)
 - ・郷土愛を育む
- 教育・文化・・・(13)
 - ・子育ての問題(親育てが必要)・子育ての充実した街・安心して子どもを生み育てていけるような街に、安心して死ぬまで住めるような街に 他
- 防災・・・(6)
 - ・高田は水害が一番怖い・水害時の避難場所・橋の防災(災害時の避難経路)・水害の問題
 - ・水害に強く、鶴崎の原風景を保全しつつ
- 産業・・・(3)
 - ・店主の高齢化、若い人につなげるように・大野川の水を活かした臨海工業地帯の維持発展・神宮までの道を食べ物通りにする(空家、空地が多い)
- 都市・・・(22)
 - ・工業地帯へのアクセス(南北)が弱点・川で分断されている(橋が少ない)・道路の整備を・買物弱者対応・交通弱者対応 他
- 環境・・・(14)
 - ・郊外型農業地を残す・デルタ地帯を生かしたまちづくり・つるさきの原風景、環境・地域温暖化対策・町がだんだんさびしくなる・佐賀関の海岸を生かした(環境を生かした) 他



まちづくりのコンセプト(理念)成果発表

各班長がそれぞれの意見を取りまとめて、導いたコンセプト(理念)の発表をおこないました。

《A班:みうら組班》

コンセプト: **みんなが住みたくなる伝統と文化のあるまち**



コンセプトは、「みんなが住みたくなる伝統と文化のあるまち」です。古く歴史のある鶴崎をこれからも良くしよう、みんなが住みたいなという街にしたいです。特に福祉のほうで、何処も同じだと思いますけれども少子高齢化がどんどん進んでいますのでそれを支えられるようなまちづくりをしていきます。産業は、内陸部から海の方に大企業が沢山ありますので、大企業に今後ますますCSR活動を活性化していただいて、地域と連携しながらまちづくりの一翼を担って頂きたいと考えています。あとは他のグループとほぼ同じですけれども、子どもとお年寄りを守るというのがメインの形になると思います。



《B班:住んでみたい鶴崎のまち班》

コンセプト: **住んでみたい鶴崎の町(街)**



私のコンセプトは、「住んでみたい鶴崎の町(街)」ということで、福祉、教育・文化、産業、環境をこの様に枠組みをし、出てきた意見をそれぞれの場所に入れてみました。福祉ではタイトルを「子どもと高齢者にやさしい健康づくり・まちづくり」としました。教育・文化では「自然を生かした学校づくり」。産業では、「遊覧船を生かしたまちづくり」。これは大野川で遊覧船を生かし活気あるまちづくりにつなげることです。都市基盤では、「鶴崎駅のにぎわいと魅力あるまちづくり」。鶴崎駅の周辺整備を行い、まちづくりに生かして高齢者も鶴崎駅に来られるようにバスを巡回させていくということです。環境は「緑あふれる鶴崎」と付けました。緑を大切にしたまちづくりです。

《C班:創ろうつるさき》

コンセプト: **川を活かしたまちづくり**



C班のコンセプトとしましては「川を活かしたまちづくり」です。鶴崎の街は、乙津川・大野川を基本に生きてきていますので、この川を活かしたまちづくりをしていくということコンセプトとしています。交通については東西のみなので、南北は動いてない所がネックになっていることが上がっています。鶴崎は水があるから自然に関しても、素敵な所なんです、水が出れば水害災害の街になってしまうというようなことです。全てにおいてこの水をコンセプトにまちづくりをやっていくということですね。班の名前は「つくろうつるさき」ということで進めて参りました。

鶴崎は水の恩恵を与かっていることを忘れてはいけません。